



Japan  
Food  
Research  
Laboratories

第 12033972001-01 号 page 1/4

# 試験報告書

依頼者 株式会社 ブレイン



検 体 非常用トイレ消臭剤 15g (ポリマー:7g+ヤシ殻活性炭:8g)

表 題 アンモニア発生抑制試験

当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## アンモニア発生抑制試験

1 依頼者

株式会社 プレイン

2 検 体

非常用トイレ消臭剤 15g (ポリマー:7g+ヤシ殻活性炭:8g)

3 試験目的

検体のアンモニア発生抑制効果を試験する。

4 試験概要

検体に人工尿及びウレアーゼを添加して膨潤させ、テドラー®バッグに密封した。これを 30 °C で保存し、経時的にアンモニア濃度を測定した。

5 試験結果

試験結果を表-1及び図-1に示した。

表-1 テドラー®バッグ内のアンモニア濃度

試料	アンモニア濃度 (ppm)		
	1時間後	3時間後	6時間後
検体	<1	<1	1
空試験	180	300	400

<1 : 定量下限 (1 ppm) 未満

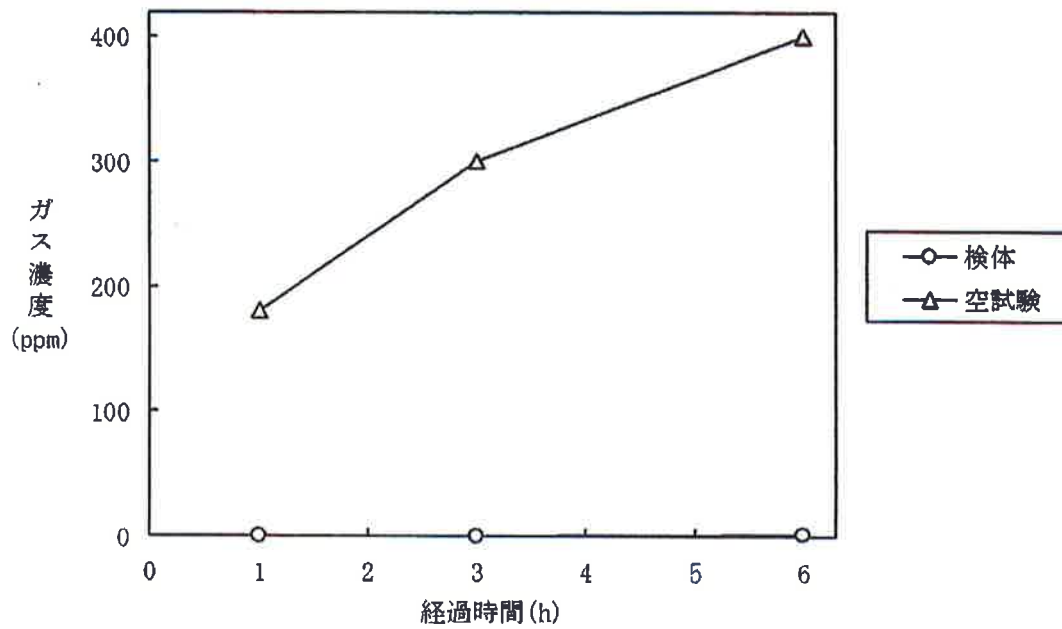


図-1 テドラー®バッグ内のアンモニア濃度

## 6 試験方法

検体に人工尿\*150 mL及びウレアーゼ (Type C-3[SIGMA]) を添加してテドラー®バッグに入れ密封し、空気を15 L注入した。30 °Cで保存し、1、3及び6時間後にテドラー®バッグ内のアンモニア濃度を検知管を用いて測定した。

また、検体の代わりに約25 gの脱脂綿を用いて同様に操作したものを空試験とした。

なお、試験はウレアーゼの添加を100 unitで行った。

### \* 人工尿の組成

尿素	25 g
塩化ナトリウム	9 g
硫酸マグネシウム (7水和物)	0.6 g
乳酸カルシウム	0.7 g
硫酸カリウム	4 g
硫酸アンモニウム	2.5 g
精製水	1 L
	pH6.5

以 上